

( IADR Abstracts ) 416, 2000 )

3 ) Ioana Baltag, Kouichi Watanabe, Haruka Kusakari, Osamu Miyakawa: Internal porosity of cast Titanium removable partial denture - Influence of sprue direction on porosity in clasps - . 平成12年度(第33回)新潟歯学会総会,新潟,2000.4.15(新潟歯学会雑誌,30(1)106,2000)

4 ) R.STEGAROIU, N.TAGUCHI and O.MIYAKAWA : Stress analysis of bone and implants replacing single molars. ITI World Symposium 2000, Luzern, Switzerland, Oct 19-21, 2000

5 ) E.KITAMURA, R.STEGAROIU and O.MIYAKAWA : Influence of marginal bone resorption on stress in implant and bone. ITI World Symposium 2000, Luzern, Switzerland, Oct 19-21, 2000

6 ) C.GAPIDO, H.KOBAYASHI, S.NAKANO, S.OKAWA, O. MIYAKAWA, S.KOHNO : Fatigue Strength of RPD Occlusal Rest Using 12%Au-Ag-Pd-Cu Alloy. JADR 48th ANNUAL MEETING, Matsudo, Dec 3, 2000 ( ABSTRACTS JADR 48th ANNUAL MEETING, 129, 2000 )

7 ) A.KHRAISAT, R.STEGAROIU, N.TAGUCHI, S. OKAWA, S.NAKANO, M. KOBAYASHI, O. MIYAKAWA : Two implant/abutment joint designs under cyclic loading. 30th Annual Meeting of the AADR, Chicago, Mar 9, 2001( J Dent Res, 80( Special Issue( AADR Abstracts )) 213, 2001 )

8 ) Ioana BALTAG, Kouichi WATANABE, Syuji NAKANO, Akihiko HASHIMOTO, Osamu MIYAKAWA: Internal Porosity of Cast Titanium Removable Partial Dentures - Influence of Sprue Design on Porosity in Clasps - . 第37回日本歯科理工学会学術講演会,東京,2000.3.31(歯科材料・器械,20(Special Issue 37):56,2001)

9 ) 渡辺孝一,大川成剛,金谷 貢,中野周二,宮川修,小林正義:チタン用二室型加圧鋳造機を使用する際の内部欠陥の原因と対策.第35回日本歯科理工学会学術講演会,東京,2000.4.27(歯科材料・器械,19(Special Issue 35):41,2000)

10) 渡辺孝一,大川成剛,金谷 貢,中野周二,宮川修,橋本明彦,小林正義:金属アレルギー診断のための口腔内金属迅速分析法.第36回日本歯科理工学会学術講演会,岡山,2000.10.14(歯科材料・器械,19(Special Issue 36):27,2000)

11) 大川成剛,金谷 貢,渡辺孝一,中野周二,宮川修:鋳造時の鋳型空洞の圧力挙動 - 二室加圧型鋳造機の場合 - .第36回日本歯科理工学会学術講演会,岡山,2000.10.14(歯科材料・器械,19(Special Issue 36):

78,2000)

12) 北村絵里子,ステガロコ・ロクサーナ,佐藤孝弘,田口直幸,宮川 修:顎部骨吸収がインプラントおよび周囲骨に与える力学的影響 三次元有限要素法による解析.第104回日本補綴歯科学会学術大会,大阪,2000.11.11(日本補綴歯科学会雑誌,44(104th Special Issue):91,2000)

13) 金谷 貢,渡辺孝一,宮川 修:高齢者および要援護高齢者に関わるブリッジ数と有床義歯数の将来推計.第104回日本補綴歯科学会学術大会,大阪,2000.11.11(日本補綴歯科学会雑誌,44(104th Special Issue):214,2000)

14) 金谷 貢,大川成剛,渡辺孝一,中野周二,宮川修,堀田憲康:光重合型床用レジンによる義歯製作とライニングにおける適合性 - 従来法との比較および変形に関する考察 - .第37回日本歯科理工学会学術講演会,東京,2001.3.31(歯科材料・器械,20(Special Issue 37):46,2001)

15) 大川成剛,金谷 貢,渡辺孝一,中野周二,宮川修:二室加圧型鋳造機における鋳造時の鋳型空洞の圧力挙動 - 鋳型温度の影響 - .第37回日本歯科理工学会学術講演会,東京,2001.3.31(歯科材料・器械,20(Special Issue 37):55,2001)

#### 【研究会発表】

なし

#### 【研究成果報告書】

なし

#### 【その他】

1) 田島清司,宮川 修:「歯科理工学文献データベース」のWebデータベースによるインターネット公開.歯科材料・器械,19(6)491-494,2000

2) 金谷 貢,宮川 修:最近のトピックス 高齢者および要援護高齢者に関わる欠損補綴の将来推計.新潟歯学会雑誌,30(2)57-58,2000

3) 大川成剛,金谷 貢:歯科精密鋳造について,平成12年度新潟大学教室系技術職員専門研修講義および実習.新潟,2000.11.21(報告書:講義概要,17-20,2000)

### 予防歯科学講座

#### 【論文】

1) J. Wang, S. Sakuma, A. Yoshihara, S. Kobayashi and H. Miyazaki: A comparison of visual, caries detector Dye and ECM methods in detecting early occlusal caries in vitro study, J. Dent. Hlth, 50, 223-230, 2000.

2) T. Ansai, A. Tahara, M. Ikeda, Y. Katoh, H. Miyazaki, and T. Takehara: Influence of colonization with mutans streptococci on caries risk in Japanese preschool children: 24 month survival analysis. *Pediatric Dent.*, 22, 377-380, 2000.

3) M. Yano, Y. Ando, T. Hirakawa, M. Harasawa, S. Kobayashi and H. Miyazaki: The effects of a preventive care program for gingivitis on middle school students -The evaluation of periodontal health status of 10th grade (15-year-old) students by a blind method-. *J Dent Hlth*, 50, 790-797, 2000.

4) A. Tsutsui, M. Yagi and A.M. Horowitz: The prevalence of dental caries and fluorosis in Japanese communities with up to 1.4 ppm of naturally occurring fluoride. *J. Public Health Dent.*, 60, 147-153, 2000.

5) T. Nagao, N. Ikeda, H. Fukano, H. Miyazaki, M. Yano and S. Warnakulasuriya: Outcome following a population screening programme for oral cancer and precancer in Japan. *Oral Oncology*, 36, 340-346, 2000.

6) T. Nagao, N. Ikeda, S. Warnakulasuriya, H. Fukano, H. Yuasa, M. Yano, H. Miyazaki and Y. Ito: Serum antioxidant micronutrients and the risk of oral leukoplakia among Japanese. *Oral Oncology*, 36, 466-470, 2000.

7) I. Parajas, H. Miyazaki, H. Ogawa, S. Yanga-Mubunga and G. Asperas: Natural fluoride content of drinking waters and dental status of selected communities in the Philippines. *J. Philippine Dent. Assoc.*, 52 (2), 4-14, 2000.

8) S. Sakuma, A. Yoshihara, S. Kobayashi and H. Miyazaki: Period required for careful maintenance of fissure-sealed teeth in schoolchildren using regular fluoride mouth rinse. *Dentistry in Japan*, 37, 88-91, 2001.

9) Y. Shimazaki, I. Soh, T. Saito, Y. Yamashita, T. Koga, H. Miyazaki and T. Takehara: Influence of dentition status on physical disability, mental impairment, and mortality in institutionalized elderly people. *J. Dent. Res.*, 80, 340-345, 2001.

10) 木村靖夫, 吉武 裕, 島田美恵子, 西牟田 守, 花田信弘, 米満正美, 竹原直道, 中垣晴男, 宮崎秀夫: 80歳高齢者の身体自立に必要な体力水準について, *Research in Exercise Epidemiology*, 2, 23-31, 2000.

11) 矢野正敏, 安藤雄一, 高德幸男, 峯田和彦, 八木稔, 西田康文, 小林秀人, 八木文子, 宮崎秀夫: 歯肉炎予防プログラムに参加した中学生における歯周組織の評価, *口腔衛生会誌*, 50, 264-271, 2000.

12) 安藤雄一, 葎原明弘, 清田義和, 廣富敏伸, 小川祐

司, 金子 昇, 高野尚子, 山賀孝之, 王 晶, 神森秀樹, 岸 洋志, 花田信弘, 宮崎秀夫: 高齢者を対象とした歯科疫学調査におけるサンプルの偏りに関する研究 質問紙の回答状況および健診受診の有無別にみた口腔および全身健康状態の比較, *口腔衛生会誌*, 50, 322-333, 2000.

13) 八木 稔, 佐久間汐子, 宮崎秀夫: 就学前4歳時からのフッ化物洗口プログラムは歯のフッ素症のリスク要因か, *口腔衛生会誌*, 50, 375-381, 2000.

14) 佐久間汐子, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 初期う蝕治療法としてのフィッシャーシーラントおよびシーラント併用レジン充填の有用性, *口腔衛生会誌*, 50, 765-771, 2000.

15) 葎原明弘, 佐久間汐子, 宮崎秀夫: 第一大臼歯の初期表層脱灰歯面に填塞したグラスアイオノマー系シーラントとレジン系シーラントの有用性の比較, *口腔衛生会誌*, 50, 777-782, 2000.

#### 【筆書】

1) 宮崎秀夫: III章 口臭の疫学, 臨床家のための口臭治療のガイドライン(八重垣 健編著), クインテッセンス出版, 東京, 27-33, 2000.

2) 宮崎秀夫: 歯科疾患の状況, 2000年版歯科衛生の動向(日本口腔衛生学会編), 医歯薬出版, 東京, xiii-xvii, 2-8, 2000.

#### 【商業誌】

1) 宮崎秀夫: 総論: 新しい口臭診断のプロトコール, 歯界展望, 95, 771-776, 2000.

2) 山賀孝之, 飯田俊也, 宮崎秀夫: 病院口臭外来の実際, 歯界展望, 95, 812-816, 2000.

3) 宮崎秀夫: 口臭スクリーニング法の開発及び臨床的アプローチ, 日本歯科医師会雑誌, 53, 198-207, 2000.

4) 宮崎秀夫: 口臭と紳士淑女, LISA, 7, 778-779, 2000.

5) 安藤雄一, 清田義和, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 70歳高齢者の歯の喪失リスクに関する縦断調査 1年後の結果, 日本歯科評論, 699, 113-115, 2001.

#### 【研究成果報告書】

1) 安藤雄一: 高齢者の健康調査における口腔状態の評価: 総括報告, 8020者のデータバンクの構築について, (「口腔保健と全身的な健康状態の関係」運営協議会編), 口腔保健協会, 東京, 12-43, 2000. (平成11年度厚生科学研究報告)

2) 宮崎秀夫: 高齢者の健康調査における口腔状態の評価 新潟調査, 8020者のデータバンクの構築について, (「口腔保健と全身的な健康状態の関係」運営協議会編), 口腔保健協会, 東京, 56-60, 2000. (平成11年度厚生科学

研究報告)

3) 花田信弘, 安藤雄一: 高齢者の健康調査における全身状態の評価と口腔健康状態との比較: 総括報告, 8020者のデータバンクの構築について, (「口腔保健と全身的な健康状態の関係」運営協議会編), 口腔保健協会, 東京, 76-107, 2000. (平成11年度厚生科学研究報告)

4) 宮崎秀夫: 8020データバンク口腔診査票, 8020者のデータバンクの構築について, (「口腔保健と全身的な健康状態の関係」運営協議会編), 口腔保健協会, 東京, 122-126, 2000. (平成11年度厚生科学研究報告)

5) 安藤雄一, 鶴本明久, 佐々木好幸: 新しい8020データバンク共通アンケート票, 8020者のデータバンクの構築について, (「口腔保健と全身的な健康状態の関係」運営協議会編), 口腔保健協会, 東京, 127-131, 2000. (平成11年度厚生科学研究報告)

6) 宮崎秀夫: 小児不正咬合の医療体系に関する研究報告書, (口腔保健と全身の健康についての研究事業運営協議会監修), 医療経済研究機構, 東京, 73-85, 2000.

7) 斉藤 毅, 宮崎秀夫: 8020者データバンクの構築, 高齢者の口腔保健と全身的な健康状態の関係についての総合研究, 17-24, 2001. (平成12年度厚生科学研究報告)

8) 廣富敏伸, 葭原明弘, 矢野正敏, 安藤雄一, 宮崎秀夫: 健常高齢者の歯周組織健康状態およびその経年変化に関する研究, 高齢者の口腔保健と全身的な健康状態の関係についての総合研究, 25-41, 2001. (平成12年度厚生科学研究報告)

9) 小川祐司, 葭原明弘, 廣富敏伸, 安藤雄一, 宮崎秀夫: 高齢者における歯周組織破壊のRisk Indicatorについて, 高齢者の口腔保健と全身的な健康状態の関係についての総合研究, 43-57, 2001. (平成12年度厚生科学研究報告)

10) 杉田典子, 小林哲夫, 山本幸司, 宮崎秀夫, 吉江弘正: FcrRIIb-NA1/NA2遺伝子多型からみた高齢者歯周炎抵抗性の解析, 高齢者の口腔保健と全身的な健康状態の関係についての総合研究, 59-80, 2001. (平成12年度厚生科学研究報告)

11) 高野尚子, 安藤雄一, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 高齢者の2年間における根面う蝕の発生状況とその要因についての研究, 高齢者の口腔保健と全身的な健康状態の関係についての総合研究, 81-91, 2001. (平成12年度厚生科学研究報告)

12) 安藤雄一, 清田義和, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 70歳高齢者の歯の喪失リスクに関する縦断調査 1年後の結果, 高齢者の口腔保健と全身的な健康状態の関係についての総合研究, 92-99, 2001. (平成12年度厚生科学研究報告)

13) 前田伸子, 石川正夫, 誉田英喜, 武藤隆嗣, 森戸光彦, 安藤雄一, 渋谷耕司, 宮崎秀夫: 70歳者の口腔微生物

物叢に関する研究, 高齢者の口腔保健と全身的な健康状態の関係についての総合研究, 103-108, 2001. (平成12年度厚生科学研究報告)

14) H. Senpuku, A. Sogame, E. Yoshikawa, H. Miyazaki and N. Hanada: Key species which associate to the systemic diseases in oral biofilm infection, 高齢者の口腔保健と全身的な健康状態の関係についての総合研究, 135-154, 2001. (平成12年度厚生科学研究報告)

15) 山賀孝之, 安藤雄一, 吉武 裕, 島田恵美子, 木村靖夫, 西牟田守, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 高齢者の健康状態と運動機能との関係, 高齢者の口腔保健と全身的な健康状態の関係についての総合研究, 187-204, 2001. (平成12年度厚生科学研究報告)

16) 木村靖夫, 吉武 裕, 島田恵美子, 西牟田守, 花田信弘, 米満正美, 竹原直道, 中垣晴男, 宮崎秀夫: 80歳高齢者の身体的自立に必要な体力水準について, 高齢者の口腔保健と全身的な健康状態の関係についての総合研究, 206-214, 2001. (平成12年度厚生科学研究報告)

39) 渡邊令子, 立山千草, 角谷ヒロ子, 村上妙子, 村木祐子, 西牟田守, 宮崎秀夫: 自立した高齢者(72-73歳)の食生活の実態, 高齢者の口腔保健と全身的な健康状態の関係についての総合研究, 232-240, 2001. (平成12年度厚生科学研究報告)

18) 平川 敬, 安藤雄一, 清田義和, 宮崎秀夫: 歯冠修復が歯周疾患へ及ぼすリスク要因に関する研究, 平成10年度~11年度文部省科学研究費補助金 基盤(C)(2)(10671931) 2001.

19) 宮崎秀夫, 葭原明弘, 矢野正敏: 歯周疾患疫学モデルの構築, 平成9年度~12年度文部省科学研究費補助金 基盤(B)(2)(09470469) 2001.

20) 飯田俊也: 感染症のリスクマーカーとしての根面う蝕に関する研究, 平成11年度~12年度文部省科学研究費補助金 奨励(A)(2)(11771313) 2001.

21) 清田義和: 高齢者における歯牙喪失リスク因子の特定に関する研究, 平成11年度~12年度文部省科学研究費補助金 奨励(A)(2)(11771311) 2001.

#### 【講演・シンポジウム】

1) 宮崎秀夫: New trends of community Dentistry towards health promotion, 国際セッションシンポジウム「Health promotion and Community Dentistry」, 第19回日本歯科医学会総会・第22回アジア太平洋歯科大会, 東京, 2000年5月25-30日

2) 佐久間汐子: フッ素塗布・フッ素洗口・シーラントによるむし歯予防, 平成12年度第1回歯科保健短期実務研修会, 新潟市, 2000年6月29日

3) 宮崎秀夫: 口腔保健と全身の健康との関係 新潟高齢者スタディーが示唆するもの, 第33回日本歯科

衛生士会学術大会, 新潟市, 2000年9月23-24日

4) 佐久間汐子: フッ素塗布・フッ素洗口・シーラントによるむし歯予防, 平成12年度第2回歯科保健短期実務研修会, 新潟市, 2000年10月12日

5) Miyazaki, H.: Oral hygiene instruction for breath odor patients (口臭治療のための歯口清掃指導). 第1回国際口臭シンポジウム, 東京, 2000年11月5日

6) 八木 稔: 幼児から学童のう蝕予防 園児のフッ素洗口の効果と安全性について, 小千谷市北魚沼郡歯科医師会, 小千谷市, 2000年11月20日

7) 八木 稔: 無煙の健康学 歯科保健の立場から, オープンカレッジ出雲崎総合大学「禁煙道場」, 出雲崎町, 2000年11月22日

8) Miyazaki, H.: Relationship between oral health and health in general in the elderly population, The 12th Scientific Meeting and Refresher Course in Dentistry, Jakarta (Indonesia) 2000年11月22-25日

9) Miyazaki, H.: Basic science of oral malodor, Faculty of Dentistry, University of Indonesia, Jakarta (Indonesia) 2000年11月27日

10) 宮崎秀夫: 健康を高める歯科医学・歯科医療, 第22回二季会総会, 新潟市, 2000年12月9日

#### 【学会発表】

1) Wang, J., Someya, Y., Inaba, D. and Miyazaki, H.: Detection of mineral changes in enamel by electrical caries monitor. 77th General Session of the IADR (J. Dent. Res., 79, 197) Washington DC (USA) 2000年4月5-8日

2) Shimazaki, Y., Soh, I., Saito, T., Yamashita, Y., Koga, T., Miyazaki, H. and Takehara, T.: Influences of dental status on physical disability and mental impairment in elderly people. 77th General Session of the IADR (J. Dent. Res., 79, 504) Washington DC (USA) 2000年4月5-8日

3) Miyazaki, H.: Symposium "Health promotion and community Dentistry", New trends of community dentistry towards health promotion. 22nd Asian Pacific Dental Congress, Tokyo (Japan) 2000年5月25-30日

4) Miyazaki, H., Hirotsu, T., Ando, Y. and Yoshihara, A.: Periodontal status in Japanese elderly people. EUROPERIO 3 (J. Clin. Periodontol., 27 -Supplement 1: 79) Geneva (Switzerland) 2000年6月8-11日

5) Senpuku, H., Yoshikawa, E., Miyazaki, H. and Hanada, N.: Oral biofilm bacteria in the older adults required with care. American Society for Microbiology Conference on Biofilms 2000, Montana (USA) 2000年7月16-20日

6) Sakuma, S., Nakamura, M. and Miyazaki, H.: Prediction of dental caries development in 1.5-year old children. 15th Asian Academy of Preventive Dentistry, Beijing (China) 2000年9月20-21日

7) Yagi, M., Tsutsui, A. and Kobayashi, S.: A study of partial exposure to water fluoridation in China. 15th Asian Academy of Preventive Dentistry, Beijing (China) 2000年9月20-21日

8) Wang, J., Sakuma, S., Yoshihara, A. and Miyazaki, H.: Investigation of enamel maturation in post-eruptive molars by electrical caries monitor. 15th Asian Academy of Preventive Dentistry, Beijing (China) 2000年9月20-21日

9) 泉福英信, 十亀 輝, 宮崎秀夫, 由川英二, 花田信弘: 要介護者の歯垢内, 咽頭上粘膜における細菌群と全身疾患との関係. 第74回日本感染症学会総会, 福岡市, 2000年4月21日

10) 杉田典子, 小林哲夫, 山本幸司, 宮崎秀夫, 吉江弘正: FcrRIIb-NA1/NA2遺伝子多型からみた高齢者歯周炎抵抗性の解析, 第43回春期日本歯周病学会学術大会, 徳島市, 2000年5月12-14日

11) 小林孝雄, 富岡 純, 中島啓介, 宮崎秀夫, 小鷲悠典: 新潟市高齢者における歯周組織状態と血清IgG量の関連, 第43回春期日本歯周病学会学術大会, 徳島市, 2000年5月12-14日

12) 筒井昭仁, 八木 稔, 境 脩: わが国におけるフッ化物応用の現状とそれを考慮した水道水フッ化物添加の至適濃度に関する研究, 19th JADS/22nd APDC, 東京, 2000年5月25-30日

13) 境 脩, 小林清吾, 磯崎篤則, 佐久間汐子, 荒川浩久: 歯科における臨床ならびに地域保健のためのフッ化物応用, 19th JADS/22nd APDC, 東京, 2000年5月25-30日

14) 村居正雄, 真木吉信, 石井拓男, 宮武光吉, 宮崎秀夫: アジアへの歯科保健国際協力と今後の日本の課題, 19th JADS/22nd APDC, 東京, 2000年5月25-30日

15) 金子 昇, 井田博久, 今井 奨, 西沢俊樹, 葭原明弘, 佐久間汐子, 宮崎秀夫, 花田信弘: ミュータンスレンサ球菌と歯牙齲蝕との関連, 第x回細菌学会総会, 札幌市, 2000年5月29-31日

16) 長尾 徹, 池田憲昭, 深野英夫, 藤原慶輔, 山本重夫, 宮崎秀夫, Warnakulasuriya, S.: 一般住民健康診断における口腔粘膜検診, 第10回口腔粘膜学会総会, 徳島市, 2000年6月3日

17) 宮崎秀夫: 口臭 その測定技術と臨床, 呼吸生体病理研究学会, 吹田市, 2000年6月24日

18) Matin, K., Senpuku, H., Abdus, S. Md., Takeuchi, H., Murata, T., Sakurai, S., Miyazaki, H., Hanada, N.:

Effect of monoclonal antibodies in Streptococcus mutans attachment. 第4回Bacterial Adherence研究会, 南河内町, 2000年7月8日

19) 川口陽子, 荒尾宗孝, 岡村和彦, 豊福 明, 星 佳芳, 宮崎秀夫, 八重垣健, J.M. Coil: 口臭症の国際分類について, 第15回日本歯科心身医学会, 福岡市, 2000年7月14日

20) 杉田典子, 小林哲夫, 安藤雄一, 葎原明弘, 山本幸司, 宮崎秀夫, 吉江弘正: FcrRIIIB-NA1-NA2遺伝子多型からみた高齢者歯周炎抵抗性の解析, 新潟歯学会, 新潟市, 2000年7月21日

21) 村田貴俊, 葎原明弘, 安藤雄一, 泉福英信, 花田信弘, 宮崎秀夫: 新潟市在住の高齢者276人の血清中の炎症性サイトカイン濃度と口腔健康状態との関連性, 第11回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会, 新潟市, 2000年7月22日

22) 神森秀樹, 高德幸男, 峯田和彦, 安藤雄一, 宮崎秀夫: 第4回新潟県民歯科疾患実態調査結果(平成11年度)の概要, 第11回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会, 新潟市, 2000年7月22日

23) 安藤雄一, 寺岡加代, 花田信弘, 岡田真人, 石井拓男: わが国の高齢者における現在歯数の性差について, 第41回日本社会医学会, 大阪市, 2000年7月22-23日

24) 清田義和, 安藤雄一, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 70歳高齢者の歯の喪失に関するコホート分析 1年後の調査結果, 第10回日本老年歯科医学会総会, 横浜市, 2000年9月16-17日

25) 花田信弘, Khairul, M., Abdus, S.M., 村田貴俊, 宮崎秀夫, 泉福英信: モノクロナール抗体を用いたStreptococcus mutansの除菌の検討, 第42回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 吹田市, 2000年9月30日-10月1日

26) 佐久間汐子, 清田義和, 河内隆男, 中林智美, 高德幸男, 石上和夫, 宮崎秀夫: 乳歯う蝕に対するフッ化物歯面塗布とフッ化物配合歯磨剤の複合応用, 第49回日本口腔衛生学会総会, 札幌市, 2000年10月5-6日

27) 八木 稔, 佐久間汐子, 宮崎秀夫: 歯のフッ素症およびう蝕の発現に及ぼすフッ素供給源の影響, 口腔衛生会誌, 50(4), 434-435, 2000. 第49回日本口腔衛生学会総会, 札幌市, 2000年10月5-6日

28) 安藤雄一, 高德幸男, 峯田和彦, 神森秀樹, 根子淑江, 宮崎秀夫: 新潟県歯科疾患実態調査における歯科健診受診者の特性 質問紙法による健診受診者と非受診者の比較, 第49回日本口腔衛生学会総会, 札幌市, 2000年10月5-6日

29) 葎原明弘, 佐久間汐子, 王 晶, 宮崎秀夫: う蝕有病と唾液中mutans streptococciおよびlactobacilliレベルとの関連性, 第49回日本口腔衛生学会総会, 札幌市,

2000年10月5-6日

30) 平川 敬, 安藤雄一, 清田義和, 宮崎秀夫: 歯冠修復物の歯肉縁下マージンと歯周疾患の関連, 第49回日本口腔衛生学会総会, 札幌市, 2000年10月5-6日

31) 村田貴俊, 宮崎秀夫, 泉福英信, 花田信弘: 高齢者における口腔健康状態とIL-6,10濃度, 第49回日本口腔衛生学会総会, 札幌市, 2000年10月5-6日

32) 根子淑江, 葎原明弘, 佐久間汐子, 王 晶, 宮崎秀夫: フッ化物配合歯磨剤の普及状況とう蝕予防効果, 第49回日本口腔衛生学会総会, 札幌市, 2000年10月5-6日

33) 金子 昇, 今井 奨, 西沢俊樹, 葎原明弘, 佐久間汐子, 宮崎秀夫, 花田信弘: フッ化物洗口実施小学校における口腔内細菌と齲蝕の調査, 第49回日本口腔衛生学会総会, 札幌市, 2000年10月5-6日

34) 岸 洋志, 渡部純子, 貴船悦子, 岡田 匠, 安藤雄一, 佐久間汐子, 清田義和, 藤山友紀, 宮崎秀夫: 新潟市における乳歯う蝕対策の展開と評価, 第49回日本口腔衛生学会総会, 札幌市, 2000年10月5-6日

35) 小川祐司, 廣富敏伸, 葎原明弘, 安藤雄一, 宮崎秀夫: 高齢者における歯周組織破壊のRisk Indicatorについて, 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2000年11月11日

36) 廣富敏伸, 矢野正敏, 葎原明弘, 安藤雄一, 宮崎秀夫: 新潟市高齢者の歯周組織の状況, 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2000年11月11日

37) 高野尚子, 安藤雄一, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 高齢者における根面う蝕の発生状況とその要因, 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2000年11月11日

38) 山賀孝之, 安藤雄一, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 高齢者の口腔健康状態と運動機能との関係, 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2000年11月11日

39) Wang, J., Someya, Y., Inaba, D., Miyazaki, H.: Detection of mineral changes in enamel by electrical caries monitor. 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2000年11月11日

40) 長尾 徹, 池田憲昭, 深野英夫, 藤原慶輔, 宮崎秀夫, Warnakulasuriya, S.: 一般住民健康診断における口腔粘膜検診 精密検診と検診精度について, 第45回日本口腔外科学会総会, 東京, 2000年11月12-13日

41) 石川正夫, 前田伸子, 誉田英喜, 武藤隆嗣, 森戸光彦, 安藤雄一, 渋谷耕司, 宮崎秀夫: 高齢者の口腔常在微生物叢の研究, 第48回国際歯科研究学会日本部会総会, 松戸市, 2000年12月2-3日

#### 【その他】

1) 鶴本明久, 八木 稔, 田浦勝彦, 磯崎篤則, 小林清吾, 境 脩: 日本におけるフッ化物応用に関する現状と将来の保健戦略(論説), 口腔衛生会誌, 50, 296-301,

2000.

2) 宮崎秀夫: 口腔保健と全身の健康 北九州高齢者スタディーから新潟高齢者スタディーまで, 日衛学誌, 29(2) 7-12, 2000.

3) 宮崎秀夫: World topics, 施設入居高齢者の口腔健康状態, 衛生士誌, 24(5) 77, 2000.

4) 葎原明弘, 佐久間汐子, 宮崎秀夫: フッ化物洗口が mutans streptococci および lactobacilli の唾液中菌数レベルに与える影響について, 新潟歯学会誌, 30, 77-78, 2000.

5) 宮崎秀夫: World topics, 肺癌のマーカーとしての揮発性呼気生体ガス 横断研究, 衛生士誌, 24(9) 77, 2000.

6) 宮崎秀夫: 健康推進を目指す地域歯科保健の新たな試み, 歯界展望(増刊号), 200-201, 2000.

7) 宮崎秀夫: 咬合と全身の関わりを探る 咬合の崩壊と生命の予後をみる, 日本学術会議咬合学研究連絡会議, 16-23, 2000.

8) 宮崎秀夫: World topics, 義歯装着した無歯顎高齢者の舌細菌叢, 衛生士誌, 25(1) 61, 2001.

9) 宮崎秀夫: CPI 地域における歯周疾患の指標, 口腔保健学(宮武光吉他編集), 医歯薬出版, 東京, 109-110, 2001.

10) 境 脩, 小林清吾, 磯崎篤則, 佐久間汐子, 荒川浩久: 歯科における臨床ならびに地域保健のためのフッ化物応用, 歯界展望(増刊号), 30, 2001.

### 歯科保存学第一講座

#### 【著書】

1) NEAMAT HASSAN ABU-BAKR. PROPERTIES AND BEHAVIOUR OF POLY-ACID MODIFIED COMPOSITE RESIN (COMPOMER).

#### 【論文】

1) Kunihiro Yoshida, Nagako Yoshida, Daniel Aberdam, Guerrino Meneguzzi, Fabienne Perrin-Schmitt, Corinne Stoetzel, Jean Victor Ruch and Hervé Lesot. Differential expression of laminin-5 subunits during incisor and molar development in the mouse. International Journal of Developmental Biology 44(3) 337-340, 2000.

2) 渡邊清志, 福島正義, 岩久正明: 各種ポーセレンラミネートベニア修復症例における技工の要点. 歯科審美, 第12巻, 第2号.

3) 風間龍之輔, 中條和子, 石川和之, 福島正義, 岩久正明: 歯科用CAD/CAM「Cerec2」システムにより製作されたセラミッククラウンの適合性. 接着歯学18巻2号, Vol. 18, No2, 119~125, 2000.

4) N.Abu-bakr, L.Han, A.Okamoto and M.Iwaku. Effect of Alcolic and Low-pH Soft Drinks on Fluoride Release from Compomer. Journal of Esthetic Dentistry 12, 97-104, 2000.

5) 福島正義: 歯の色と表情 自然審美を取り戻すために. 歯科審美第13巻第1号, 13(1) 96~101, 2000.

6) LINLIN HAN. NEAMAT H. AKIRA OKAMOTO. MASAOKI IWAKU. A WDX Study of Resin-dentin Interface on Wet vs. Dry Dentin. DENTAL MATERIALS JOURNAL, 19, 3, 2000.

7) EV Cruz, MEM Jimena, EG Puzon, M Iwaku. Undergraduate endodontic teaching in Philippine dental schools. International Endodontic Journal 33(5) 427-434, 2000.

8) N.Abu-bakr, L.Han, A.Okamoto and M.Iwaku. Changes in the mechanical properties and surface texture of compomer immersed in various media. Journal of Prosthetic Dentistry, 84, 444-452, 2000.

9) N.Abu-bakr, L.Han, A.Okamoto and M.Iwaku. Color Stability of Compomer after Immersion in Various Media. Journal of Esthetic Dentistry 12, 258-263, 2000.

10) N.Abu-bakr, L.Han, A.Okamoto and M.Iwaku. Effect of Alcoholic and Low-pH Soft Drinks on Fluoride Release from Compomer. Journal of Esthetic Dentistry 12, 97-104, 2000.

11) EV Cruz, Y Shigetani, K Ishikawa, K Kota, M Iwaku, H E Goodis. A laboratory study of coronal microleakage using four temporary restorative materials. International Endodontic Journal.

12) 岩久正明: 研究室紹介 新潟大学歯学部歯科保存学第一講座. 日本接着歯学会, vol.18, no.3, 2000.

13) 庭野和明: 抗菌剤添加充填用グラスアイオノマーセメントに関する研究 圧縮強度, 崩壊率, フッ素溶出性, 走査型共焦点レーザー顕微鏡による観察および抗菌性. Niigata Dent J, 30(2) 197-207, 2000.

14) 石崎裕子: 高エネルギー迅速照射が光重合型コンポジットレジン硬化特性と修復物窩縁部エナメル質の亀裂発生に及ぼす影響. 日本歯科保存学雑誌, 第44巻, 第1号, 2001.

15) L.Han, N.Abu-bakr, A.Okamoto and M.Iwaku. Study of the Fluoridated Adhesive Resin Cement - Fluoride Release, Fluoride Uptake and Acid Resistance of Tooth Structures - . DENTAL MATERIALS JOURNAL, Vol.20, No.1, 114-122, March, 2001.

16) 福島正義, 岩久正明: 変色歯患者の心理 変色歯外来の初診時アンケート調査から, 歯科審美, 13(2) 232-235, 2001.